

ふなり。——に邦実名も政才も新なる
昌豊といふものありき。是等とともに元内大
輔よ来て力戦——その後新ふ言御寺山楯ホ
は要害を據て合戦——百人之一死曰岩根
沃より後、後孝王三子所ハ東海林氏とあり
白岩館の条下にいへり。松永父子亡て後、年
人尚健よて我を孝武久員徳同家女本
戸ちるた。赤の赤上平と所。河田海と。座。松永
産六生田九ち。赤の赤の子二百余騎を百奥し
加勢も惣勢二子余騎。昌勝ハ岩根氏の裏

山は偽は要害をこ——り（逞ま二百余人指
領。日吉女は年人。妻子をみ。偽と——館の
裏山の奥鳥川といふ。切所。に丁に方のう。と。館
は柵を切。ま。玄。糧を集て。諸の。城と。に。第。州
能前といふ。方の。教子人。よて。惣。秀。は。陳——
り。を。昌。勝。見。な。る。や。百二十人。よて。赤。家
大將。能前。東海林。新。なる。意。り。能。先。よ。わ。り。で
能。を。東海林。七。弟。武。政。十。六。集。よて。赤。の。子
能。は。力。を。勝。山。川。に。平。赤。を。百。奥。——力。戦。ス
後。日吉女。兼。妻子。ホ。元。内。大。輔。川（落——。新。光